

インマヌエル中目黒キリスト教会 2017年7月30日聖日合同礼拝

聖餐式に臨むに当たり

「聖餐の起源と意義」

コリント人への手紙第1

11章23節～34節

梅田昇牧師

聖書朗読

新約聖書

コリント人への手紙第 1 11章23節 ~ 34節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています
第二版の聖書は 305 ページ
第三版の聖書は 334 ページ

23 私は主から受けたことを、あなたがたに伝えたのです。すなわち、主イエスは、渡される夜、パンを取り、

24 感謝をささげて後、それを裂き、こう言われました。「これはあなたがたのための、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。」

25 夕食の後、杯をも同じようにして言われました。「この杯は、わたしの血による新しい契約です。これを飲むたびに、わたしを覚えて、これを行いなさい。」

26 ですから、あなたがたは、このパンを
食べ、この杯を飲むたびに、主が来られ
るまで、主の死を告げ知らせるのです。

27 したがって、もし、ふさわしくないま
までパンを食べ、主の杯を飲む者があれ
ば、主のからだと血に対して罪を犯すこ
とになります。

28 ですから、ひとりひとりが自分を吟味
して、そのうえでパンを食べ、杯を飲み
なさい。

29 みからだをわきまえないで、飲み食いするならば、その飲み食いが自分をさばくことになります。

30 そのために、あなたがたの中に、弱い者や病人が多くなり、死んだ者が大ぜいいます。

31 しかし、もし私たちが自分をさばくなら、さばかれることはありません。

32 しかし、私たちがさばかれるのは、主によって懲らしめられるのであって、そ

れは、私たちが、この世とともに罪に定められることのないためです。

33 ですから、兄弟たち。食事に集まるときは、互いに待ち合わせなさい。

34 空腹な人は家で食べなさい。それは、あなたがたが集まることによって、さばきを受けることにならないためです。その他のことについては、私が行ったときに決めましょう。

説教

聖餐式に臨むに当たり

「聖餐の起源と意義」

コリント人への手紙第1

11章23節～34節

梅田昇牧師

聖礼典（ Sacraments ）

プロテスタント教会の聖礼典は 洗礼と聖餐式

コリント教会では分派争いや道德の乱れ、礼拝の不秩序、復活の教理への疑義などの問題が起こり、パウロは福音の健全な理解と実践的適応について指導を与えてる。

・ 聖餐の起源（23節）

A．初代教会は聖餐を実践していた。

B．過ぎ越しの食事での主キリストの命令
が聖餐の起源 23節

マタイの福音書26章26～29節：

26 また、彼らが食事をしているとき、イエスはパンを取り、祝福した後、これを裂き、弟子たちに与えて言われた。

「取って食べなさい。これはわたしのからだです。」

27 また杯を取り、感謝をささげて後、こう言って彼らにお与えになった。「みな、この杯から飲みなさい。

28 これは、わたしの契約の血です。罪を赦すために多くの人のために流されるものです。

29 ただ、言っておきます。わたしの父の御国で、あなたがたと新しく飲むその日までは、わたしはもはや、ぶどうの実で造った物を飲むことはありません。」

・ 聖餐の意義（24～25節）

A．パン

パンを食べることで、主の苦しみと死を記念。

B．ぶどう液

ぶどう液を飲むことで、主の流された血潮を記念。

C．聖餐の意味

(1)感謝 (2)交わり (3)記念
(4)犠牲 (5)臨在または奥義

・ 聖餐式に対する信仰者の態度 (26 ~ 29節)

A . 主の再臨まで (26節)

B . ふさわしい態度で (27節)

C . 自己吟味をもって (28 ~ 29節)

結論 .

この朝、

「聖餐の起源と意義」

について学びました。

この朝の聖餐式を通して、主の十字架の苦しみと死を覚え、心からの感謝をささげ、信仰を新たに致しましょう。